

Title	日本語・日本文化研究 第27号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化研究. 2017, 27
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/69232">https://hdl.handle.net/11094/69232</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 執筆者紹介

中田 一志	(本学日本語日本文化教育センター教授、 言語文化研究科兼任)
永原 順子	(本学言語文化研究科日本語・日本文化専攻 助教)
真嶋 潤子	(本学言語文化研究科日本語・日本文化専攻 教授)
山泉 実	(本学言語文化研究科日本語・日本文化専攻 講師)
彭 雨新	(本学博士後期課程 D3)
ベレジコワ・タチアナ	(本学博士後期課程 D3)
マリヤナ・ヴォイニコヴァ	(本学博士後期課程 D3)
伊澤 明香	(本学博士後期課程 D3)
馬氷	(本学博士後期課程 D3)
トゥ トゥ ヌエ エー	(本学博士後期課程 D2)
プーンウォンプラサート タニット	(本学博士後期課程 D2)
アブデルラフマーン・エルハディディ	(本学博士後期課程 D1)
千々岩 宏晃	(本学博士後期課程 D1)
米澤 千昌	(本学博士後期課程 D1)
プロコピエヴァ マリア	(本学博士後期課程 D1)
ラヒムバエヴァ ナジム	(本学博士後期課程 D1)
金谷 由美子	(本学博士前期課程 M2)
植田 志穂	(本学博士前期課程 M2)
太田 いずみ	(本学博士前期課程 M2)
吉川 夏渚子	(本学博士前期課程 M2)

## 編集後記

紀要第 27 号には教員からの投稿論文 5 篇、大学院生からの投稿論文 16 篇を掲載することができた。院生からの投稿論文を掲載するにあたっては、査読の先生方、指導教員の先生方には多用中、多くの時間を割いてもらった。彼らの原稿がより良いものになるように、建設的なコメントや丁寧な指導をするだけでも大変なところ、院生からの投稿数も先生方の熱意とともに増加しており、ますますご苦勞をかける事態となっている。嬉しい忙しさと言うべきか。このようにして掲載に至った論文だが、十分な指導が行き届いていないところも多々ある。諸賢のご批正を賜ることができれば幸いである。

さて、今年 4 月には日本語・日本文化専攻の教員に、文化人類学・民俗学・宗教学の永原順子先生と、日本語教育学・会話分析の高井美穂先生が加わった。永原先生には着任早々ではあるが早速論文も投稿していただき、大変心強い限りである。今後とも本紀要がよりよいものに発展を続けていけるように祈るとともに、本紀要に携わっていただいた全ての方に感謝の意を表して、編集後記を締めくくる。(G)

**日本語・日本文化研究 第27号**

平成29年12月1日

編集者：大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻  
『日本語・日本文化研究』編集委員会

発行所：〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号  
大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻

印刷所：〒531-0072 大阪市北区豊崎4丁目6番3号  
株式会社 アイジイ